

解答

問一

ロウホウー朗報 ニダイー荷台 ヨウコウー陽光
カッテホウダイー勝手放題 キョクゲンー極限

問二

A ウ B エ

問三

a カ b ア

問四

イ

問五

エ

問六

集中

問七

ア

問八

本当に花が咲いているのかもしれない

問九

無肥料、無化学でリンゴ栽培を始めてから、長い間病氣と虫にさいなまれ、花が咲かないのが当たり前の無残な状態。

問十

一九八八年（昭和六十三年）五月十三日

問十一

無肥料、無農薬でリンゴを作りたい（という私の思いにリンゴの木が）こたえてくれ、花を咲かせてくれ（こと）。

問十二

ウ

問十三

感謝

問十四

（一）日本酒を自分も一緒に飲んだ（こと）。

問十五

（二）ア
おふくろ

問十六

リンゴ畑にようやく花が咲いたこと。

問十七

リンゴの花がやっと咲いたことに自分で気づき、驚く喜びを味わわせようと思ったから。

問十八

ちよっとふっくらした大きめの芽

問十九

先人

問二十

イ

問二十一

エ

問二十二

無肥料、無農薬でリンゴを作るなんて無理だ、病氣や虫も困るから、普通に農薬を使って栽培しろということ。

問二十三

花咲いだよ

問二十四

無肥料、無農薬でリンゴを栽培する木村のやり方がようやく成功し、人々に受け入れられ、さらに広がっていきこうとしている時代になったということ。

解説

問十六

この文章の後に、「自分の目で確認してからという心づかい」とありますので、あえて「一事も言わなかった」両親の気づかいがうかがわれます。

問二十三

本文は、木村（筆者）の無肥料・無農薬のリンゴ栽培が周囲に認められ、応援されるようになってきた様子で締めくくられています。この部分をまとめて答えましょう。